**服部　進 （はっとり・すすむ）**

**１、プロフィール**

小説家。昭和29年、小説同人誌「北狄」創刊に参加。代表ならびに編集人を務めた。小説集５冊上梓。

＜生没＞

1923（大正12）年１月３日～2009（平成21）年２月３日

＜代表作＞

『小説・私の青森』『幻花』『白鳥の歌』『旅の理由』『青い花』（上梓単行本から）

＜青森との関わり＞

青森市生まれ。青森市立中学校卒業。青森市内中・高校教員。青森ペンクラブ会長を務めた。

**２、作家解説**

大正12年１月３日青森市生まれ。

 　青森市立中学校（現北斗高校）卒。法政大学文学部卒。青森市内中・高校の国語科教員を勤める。

昭和29年、小説同人誌「北狄」の創刊に参加。創刊号所載の「咲別川の鱒」が「近代文学」（昭21創刊、同人本多秋五、平野謙ら、戦後文学の一大拠点）10周年記念同人誌コンクールに２席入選。同誌31年６月号に掲載。同誌31年９月号に「風」を掲載。

東奥日報社主催「東奥小説賞」には第１回（昭32）に「白夜」佳作一席、第２回（昭33）に「エスのこと」佳作、第３回に「しらみ」佳作２席とそれぞれ入選。

昭和51年から矢継ぎ早に作品集を刊行。第１作品集『小説・私の青森』（昭51．６）、第２作品集『幻花』（昭52．９）、第３作品集『白鳥の歌』（昭54．９）、第４作品集『旅の理由』（昭56．２）、第５作品集『青い花』（昭58．５）の刊行である。その間、純文芸誌「海燕」が創設した「地域の文学」欄（昭55．10）に「杖の道」を発表。第４作品集『旅の理由』等により、昭和56年、第７回県教委芸術文化報奨を受賞。「北狄」代表、256号からは編集人も兼ね、雑誌の運営・発行に尽力、今日の盛況に導いた。「北狄」の同人誌活動については、昭和51年に県教委芸術文化報奨、平成13年、第22回青森県文芸協会賞、同年第１回富士正晴全国同人雑誌賞コンクールで特別賞を受賞。また、他同人誌ではあまりみられない同人作品集の刊行をしている。第１集（昭52．７）第２集（昭53．９）第３集（平13．６）の３冊である。服部進の強烈な指導・牽引力の賜物である。「北狄」は256号（平元．10）から隔月刊、295号（平８．９）から季刊となり、平成13年12月には321号を発行。旺盛な創作力で平成21年に82歳で亡くなるまで毎号作品を発表しつづけた。

**３、資料紹介**

〇『小説・私の青森』

図書

1976（昭和51）年６月15日

195ｍｍ×133ｍｍ

第１小説集、短編「呪」「三上町」「私の地図」「あまねき光」「花の宴」５編を所収。「北狄」100号から190号に発表した作品群から選ばれている。青森を背景または主題とした作品である。「私の血、私の肉、私の骨である『小説・私の青森』に光あれ」と著者は「あとがき」で述べている。